



2021年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年8月4日

上場取引所 東

上場会社名 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
 コード番号 4739 URL <https://www.ctc-g.co.jp/>
 代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 柘植 一郎
 問合せ先責任者（役職名） 主計部長（氏名） 戸出 泰央（TEL）03-6203-5000
 四半期報告書提出予定日 2020年8月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家、アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期純利益		当社株主に 帰属する 四半期純利益		四半期包括利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	104,075	7.3	5,846	21.1	5,895	21.1	4,067	22.7	4,092	26.1	5,635	133.8
2020年3月期第1四半期	96,973	6.6	4,826	54.5	4,869	45.1	3,315	47.6	3,246	43.2	2,409	△2.4

	基本的1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益	希薄化後1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	17.71	17.71
2020年3月期第1四半期	14.05	14.05

（2）連結財政状態

	資産合計	資本合計	株主資本合計	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年3月期第1四半期	420,610	236,664	229,462	54.6
2020年3月期	438,816	238,564	231,672	52.8

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	27.50	—	30.50	58.00
2021年3月期	—	—	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	31.50	—	31.50	63.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期純利益		当社株主に 帰属する 当期純利益		基本的1株当たり 当社株主に帰属 する当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	500,000	2.7	44,600	7.0	44,600	7.4	30,600	7.5	30,000	5.4	129.85

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

① IFRSにより要求される会計方針の変更：無

② ①以外の会計方針の変更：無

③ 会計上の見積りの変更：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期1Q	240,000,000株	2020年3月期	240,000,000株
------------	--------------	----------	--------------

② 期末自己株式数

2021年3月期1Q	8,966,322株	2020年3月期	8,966,282株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期1Q	231,033,702株	2020年3月期1Q	231,029,251株
------------	--------------	------------	--------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、2020年8月4日に機関投資家及びアナリスト向けの電話会議を開催する予定です。この電話会議で利用する資料については、当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する説明	P. 2
(2) 連結財政状態に関する説明	P. 3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	P. 4
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	P. 8
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 10
(継続企業の前提に関する注記)	P. 10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により景気が急速に下押しされ、企業収益も製造業を中心に弱含み、厳しい状況となりました。

情報サービス産業においては、新型コロナウイルス感染症の影響によりテレワークなどのIT投資の需要があった一方で、一部事業活動の制限や、業績への影響が大きかった顧客企業を中心に、同投資を抑制又は延期するなどの動きもみられました。

このような状況下、当社グループにおきましては、「リーディング・カンパニーとして、IT産業の進化を担う」ことを目指した、2019年3月期から2021年3月期までの3か年の中期経営計画「Opening New Horizons ～新しい景色を見るために～」の達成に向け、4つの“Horizons”「上に広げる：ビジネス変革への挑戦」、「前に伸ばす：強みをさらに強く」、「外に出る：新たな分野・リージョンの開拓」、「足元を固める：経営基盤の強化」に引き続き注力しています。また、新型コロナウイルス感染症により働き方や生活スタイルが変化中、その対応を支援するため、本中期経営計画に則した新たな取り組みも行っております。これらの具体的な取り組みは次のとおりです。

<「上に広げる：ビジネス変革への挑戦」に関する取り組み>

- ・コールセンターでの問合せ対応において、AIによるテキスト化から分析、音声応答までを自動で行うソリューション「CTC-AICON（シーティーシーアイコン）」を損害保険ジャパン株式会社に提供しました。お客様の発話内容からAIが用件を認識して、引っ越しに伴う登録住所の変更や、控除証明書の発行などの手続きを自動で受け付けすることが可能です。今後は、CTC-AICONを他業務にも提供していくことで、コールセンターにおける対応の更なる品質向上に貢献していきます。
- ・Idein株式会社と共同で、汎用的なIoTデバイスを利用した体温検知AIデバイスの販売を開始しました。企業の受付や物流施設の出入口など、人の出入りが行われる場所に設置し、非接触で来訪者の体表面温度の計測をすることで、発熱の疑いのある人のスクリーニングを行うものです。AIによる顔認識の機能も備えているため、受付担当者や警備担当者等が条件に該当する人物を容易に識別し、特定することも可能です。今後も同社と共同で、新型コロナウイルス感染症を中心とした感染症の拡大防止につながるAI/IoTシステムの開発と普及を推進していきます。
- ・独Celonis SEが提供するプロセスマイニングソリューション「Celonis Intelligent Business Cloud」の取り扱いを開始しました。企業内で日々発生する業務データやログを取り込み、AIにより分析し、業務プロセスにおけるボトルネックや改善点を特定するソリューションです。プロセスの改善に必要なOODAループ^{※1}をツールの中でリアルタイムに実行することが可能です。当社は、本ソリューションの提供に加え、データ設計やコンサルティング、設定、既存システムとの連携、運用、教育などのサービスをトータルで提供し、お客様のDXを支援していきます。

※1「観察 (Observe)」、「方向づけ (Orient)」、「意思決定 (Decide)」、「行動 (Act)」を繰り返し行う問題解決方法

<「前に伸ばす：強みをさらに強く」に関する取り組み>

- ・株式会社伊予銀行に、ウェルネス・コミュニケーションズ株式会社のクラウドサービス「Health Support System（以下：H.S.S.）」を提供しました。H.S.S.は、健康診断データ、就労データ、ストレスチェックデータの一元管理を通し、企業の健康経営をサポートするクラウドサービスです。また、従業員の健康意識を高め生活習慣の改善などの自律的な行動変容を促すためのウェアラブル端末やデータ管理基盤も提供することで、同行が推進する健康経営を総合的に支援いたしました。

- ・年金積立金管理運用独立行政法人（以下：GPIF）に、資産運用でのベンチマークとなるインデックス情報の収集・分析を行うクラウド基盤を提供しました。GPIFでは、指数会社より提案される、ESG指数やスマートベータ指数など、様々なインデックス情報を収集する「インデックス・ポスティング」を開始しました。今回の導入により、常時、指数会社からの提案の受付が可能となり、情報の収集・蓄積の効率化が実現しました。クラウド基盤に搭載された高度データ分析機能により、インデックスに含まれる企業に関する財務情報だけでなく、ESG情報を含む非財務情報を併せて分析することで、運用の高度化につなげることができました。
- ・商業施設や交通機関、公共施設向けにソーシャルディスタンスに応じた定量評価サービスの提供を開始しました。当社におけるデジタルシミュレーションでの60年以上にわたる知見をもとにしたサービスで、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を目的としたソーシャルディスタンスの確保に伴う待ち行列の発生や集団密度の上昇などを予測して、課題を特定し、対策の効果を評価することで施設運用を支援します。今後も、シミュレーション技術の高度化に取り組み、関連サービスを拡充していくことで、様々な施設の安心で安全な利用に貢献していきます。

＜「足元を固める：経営基盤の強化」に関する取り組み＞

- ・当社では、多様な人材が活躍できる環境や風土を醸成するため、社員の働き方変革や健康経営、女性・シニア及び障がい者の活躍支援、育児・介護との両立支援等に取り組んできましたが、今般、LGBT（性的マイノリティ）^{※1}やSOGI（性的指向や性自認）^{※2}を含めた更なるダイバーシティ推進を図るため、ダイバーシティ基本方針を策定しました。また、本方針に基づき、LGBTやSOGIに関する相談窓口の設置や社内研修を行い社員の理解を促進しています。

※1 LGBT：レズビアン/ゲイ/バイセクシュアル/トランスジェンダーの頭文字。性的マイノリティの総称

※2 SOGI：性的指向及び性自認（Sexual Orientation and Gender Identity）の頭文字

- ・新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、当社グループでは、政府による緊急事態宣言が出される前の2020年4月3日から全ての役職員を対象に、原則、在宅勤務としました。同宣言が解除された以降は、在宅勤務を基本としつつ感染状況を踏まえ勤務体制を柔軟に見直しており、引き続き役職員、お客様やお取引先を含めた関係者の安全を最優先に考え、感染拡大防止を図るとともに、ITを活用した事業の継続に努めています。

営業活動につきましては、通信や製造向けインフラ及び官公庁向け開発やインフラなどに注力しました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、サービスビジネス及び製品ビジネスにおいて増加し、売上収益は104,075百万円（前年同期比7.3%増）となりました。営業利益につきましては、増収及び売上総利益率の改善により、5,846百万円（同21.1%増）となりました。また、営業利益の増加により税引前四半期利益は5,895百万円（同21.1%増）、四半期純利益は4,067百万円（同22.7%増）、当社株主に帰属する四半期純利益は4,092百万円（同26.1%増）となりました。

（2）連結財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における資産は、前連結会計年度末に比べて18,206百万円減少し、420,610百万円となりました。これは、主にその他の流動資産が12,084百万円増加したものの、営業債権及びその他の債権が29,418百万円減少したことによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べて16,306百万円減少し、183,945百万円となりました。これは、主にその他の流動負債が14,731百万円増加したものの、営業債務及びその他の債務が18,336百万円、未払法人所得税が11,146百万円減少したことによるものであります。

資本は、前連結会計年度末に比べて1,900百万円減少し、236,664百万円となりました。これは、主に四半期純利益による増加が4,067百万円、その他の包括利益による増加が1,567百万円あったものの、剰余金の配当による減少が7,109百万円あったことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点においては、2020年4月30日に発表いたしました業績予想を変更しておりません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度末 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2020年6月30日)
区分	金額(百万円)	金額(百万円)
(資産の部)		
流動資産		
現金及び現金同等物	74,615	67,860
営業債権及びその他の債権	137,736	108,318
棚卸資産	29,044	34,048
当期税金資産	76	1,974
その他の金融資産	20,301	20,152
その他の流動資産	62,963	75,047
流動資産合計	324,736	307,402
非流動資産		
有形固定資産	55,382	55,000
のれん	10,406	11,415
無形資産	8,477	8,254
持分法で会計処理されている投資	5,035	5,056
その他の金融資産	18,721	19,071
繰延税金資産	13,910	12,199
その他の非流動資産	2,145	2,210
非流動資産合計	114,080	113,208
資産合計	438,816	420,610

	前連結会計年度末 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間末 (2020年6月30日)
区分	金額(百万円)	金額(百万円)
(負債及び資本の部)		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	56,788	38,451
その他の金融負債	14,818	21,133
未払法人所得税	11,696	549
従業員給付	21,761	13,238
引当金	995	1,026
その他の流動負債	56,545	71,276
流動負債合計	162,604	145,676
非流動負債		
長期金融負債	31,222	31,809
従業員給付	3,839	3,820
引当金	2,198	2,207
繰延税金負債	387	432
非流動負債合計	37,647	38,269
負債合計	200,252	183,945
資本		
資本金	21,763	21,763
資本剰余金	30,526	30,099
自己株式	△9,613	△9,613
利益剰余金	188,149	185,190
その他の資本の構成要素	846	2,022
株主資本合計	231,672	229,462
非支配持分	6,892	7,202
資本合計	238,564	236,664
負債及び資本合計	438,816	420,610

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
区分	金額(百万円)	金額(百万円)
売上収益	96,973	104,075
売上原価	△74,090	△79,094
売上総利益	22,883	24,980
その他の収益及び費用		
販売費及び一般管理費	△18,124	△19,194
その他の収益	78	99
その他の費用	△10	△39
その他の収益及び費用合計	△18,056	△19,134
営業利益	4,826	5,846
金融収益	105	111
金融費用	△127	△153
持分法による投資損益	65	91
税引前四半期利益	4,869	5,895
法人所得税	△1,554	△1,828
四半期純利益	3,315	4,067
四半期純利益の帰属：		
当社株主	3,246	4,092
非支配持分	68	△25
1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益：	(円)	(円)
基本的	14.05	17.71
希薄化後	14.05	17.71

要約四半期連結包括利益計算書

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
区分	金額(百万円)	金額(百万円)
四半期純利益	3,315	4,067
その他の包括利益(税効果控除後)		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて測定する金融資産の 公正価値の純変動	△429	223
持分法適用会社に対する持分相当額	△0	△0
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△447	1,335
キャッシュ・フロー・ヘッジ	△11	13
持分法適用会社に対する持分相当額	△16	△4
その他の包括利益(税効果控除後)合計	△905	1,567
四半期包括利益	2,409	5,635
四半期包括利益の帰属:		
当社株主	2,486	5,268
非支配持分	△76	366

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

(単位:百万円)

区分	株主資本						
	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益 剰余金	その他の資本の構成要素		
					在外営業 活動体の 換算差額	その他の包 括利益を通 じて測定す る金融資産 の公正価値 の純変動	キャッシ ュ・フロ ー・ヘッジ
2019年4月1日	21,763	33,193	△9,622	174,460	△256	1,160	1
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	△2,151	—	—	—
会計方針の変更を反映した 2019年4月1日残高	21,763	33,193	△9,622	172,309	△256	1,160	1
四半期純利益	—	—	—	3,246	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△318	△429	△11
四半期包括利益	—	—	—	3,246	△318	△429	△11
剰余金の配当	—	—	—	△6,011	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	19	—	—	—	—	—
非支配持分に付与された プット・オプション	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	19	—	△6,011	—	—	—
2019年6月30日	21,763	33,213	△9,622	169,544	△574	731	△10

区分	株主資本	非支配持分	資本合計
	株主資本合計		
2019年4月1日	220,701	4,404	225,105
会計方針の変更による累積的影響額	△2,151	△4	△2,155
会計方針の変更を反映した 2019年4月1日残高	218,550	4,399	222,949
四半期純利益	3,246	68	3,315
その他の包括利益	△760	△145	△905
四半期包括利益	2,486	△76	2,409
剰余金の配当	△6,011	△49	△6,061
自己株式の取得	—	—	—
株式報酬取引	19	—	19
非支配持分に付与された プット・オプション	—	—	—
所有者との取引額等合計	△5,992	△49	△6,041
2019年6月30日	215,044	4,272	219,317

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

(単位:百万円)

区分	株主資本						
	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益 剰余金	その他の資本の構成要素		
					在外営業 活動体の 換算差額	その他の包 括利益を通 じて測定す る金融資産 の公正価値 の純変動	キャッシ ュ・フロ ー・ヘッジ
2020年4月1日	21,763	30,526	△9,613	188,149	△1,655	2,532	△31
四半期純利益	—	—	—	4,092	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	939	223	13
四半期包括利益	—	—	—	4,092	939	223	13
剰余金の配当	—	—	—	△7,052	—	—	—
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—	—
株式報酬取引	—	29	—	—	—	—	—
非支配持分に付与された プット・オプション	—	△455	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△426	△0	△7,052	—	—	—
2020年6月30日	21,763	30,099	△9,613	185,190	△716	2,756	△17

区分	株主資本	非支配持分	資本合計
	株主資本合計		
2020年4月1日	231,672	6,892	238,564
四半期純利益	4,092	△25	4,067
その他の包括利益	1,176	391	1,567
四半期包括利益	5,268	366	5,635
剰余金の配当	△7,052	△56	△7,109
自己株式の取得	△0	—	△0
株式報酬取引	29	—	29
非支配持分に付与された プット・オプション	△455	—	△455
所有者との取引額等合計	△7,478	△56	△7,535
2020年6月30日	229,462	7,202	236,664

- (4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)
該当事項はありません。